



発行：松戸市 編集：総務企画本部広報課
〒271-8588 松戸市根本387-5
TEL.047-366-1111 FAX.047-363-3200
e-mail mcity@intership.ne.jp
URL http://www.intership.ne.jp/matsudo/



最優秀賞「しぜんよ いつまでも」 板橋英子さん（聖徳大学附属小学校2年生）

謹賀 新年

21世紀はどんなまちになるのかな？ 子どもたちの描いた未来予想図



優秀賞「ふしぎなゆうえんちえき」 須永沙智・大智・美幸さん（親子）



アクアグリーン賞「水と緑の町」 松本紫歩さん（和洋女子中学校3年生）

※平成12年松戸未来予想図コンテスト（松戸市青年会議所主催）入賞作品から



市議会議長 渡辺 昇

新年、明けましておめでとうございます。いよいよ新世紀の幕開けとなり、皆様には希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのことと、心よりお喜び申し上げます。日ごろ皆様には、子どもの議会活動に対し、温かいご支援とご協力を賜り、心から厚くお礼を申し上げます。さて、市政を取り巻く社会・経済環境、特に少子・高齢化、情報化、国際化、更には地球規模での環境問題等への迅速、適切な対応など、市民生活の安定のために行政における課題は山積いたしております。こうした中であって、昨年四月には分権改革への取り組みの第一段階となる地方分権推進一括法が施行され、また介護保険制度も実施されてまいりました。時代の流れは、確実に分権型社会の実現に向かっており、二十一世紀は地方自治体の自主・自立の確立がさらに強く求められることとなります。そして、社会経済状況が混沌とする中で、一層地方自治体の力量と独自性が問われてまいります。私も市議会議員もその責務を十分認識し、市民生活の安定と福祉の向上に努め、松戸市をより住みよい魅力溢れる都市にするため、さらに創意と工夫を重ね、市民の皆様方のご期待と負託に応えるべく決意を新たにしております。本年も、相変わらぬご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝とご多幸を祈念し、松戸市議会を代表しての年頭のごあいさつといたします。

市長 川井 敏久



新年、明けましておめでとうございます。二十一世紀の幕開けにあたり、市民の皆様には、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。本市では、昨年、より迅速で効率的な行政組織への転換を目指した組織改革を実施するとともに、財政改革計画を策定し健全財政の実現に向けて大きな第一歩を踏み出しました。さらに、現在、政策・施策目標の達成を客観的、理論的な指標に基づき検証する、事務事業評価システムの導入を図っており、行政執行の更なる透明性の確保を目指しております。また、本格的な高度情報通信ネットワーク社会（IT社会）への対応をも考慮しつつ、松戸市総合計画・第一次実施計画の見直し作業を進めているところでございます。私は、市長就任以来、行政のリストラを積極的に推進して参りましたが、一段と厳しい経済情勢の中、これらの改革や試みにより、市民ニーズを的確に捉えた、効率的な施策の展開を図り、新世紀にふさわしい、活力と魅力あるまちづくりを進めて参りたいと考えております。そして、引き続き、すべての市民の皆様が、いきいきと安全で安心して暮らせるまち、緑と清き流れの「ふるさと松戸」の創生に邁進して参りますので、変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。皆様のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げます。年頭のごあいさつとさせていただきます。

年頭のごあいさつ

新春座談会

二十一世紀は

皆さんの活躍の舞台です

二十一世紀という新しい世紀を迎えました。各分野で活躍している若い皆さんを迎え、それぞれの夢や松戸市の印象を伺いました。

自ら選んだ舞台

市長 皆さん、明けましておめでとございます。

さあ、二十一世紀が来ました。

新世紀のスタートにあたって、スポーツ・音楽・伝統工芸とそれぞれ

の分野で活躍されている若い皆さんにお集りいただきました。

これからは皆さんの時代です。皆さんの夢をお聞かせ願えればと思います。

司会（広報課長）まず、皆さんが今の分野に進まれたきっかけをお

聞かせてください。

古城 クロスカントリースキーを勧められ、夏場のトレーニングとして陸上を取り入れたところ、

ふだんからサッカーをやっていたこともあって、百メートルの記録が思ったよりよかったです。それで陸上競技を始めました。

市長 昨年のシドニーパラリンピックでは直前に足をけがされて、それを押しての百メートル出場、よく頑張りましたね。

古城 はい。ただ、今回シドニーではいい結果を出せなかったのが、この経験を次の国際大会につなげたいです。

篠原 父が友禅染師なので子どものころから生活の中に着物がありません。私の中で着物は切っても切れないという自分の一部分になっているんです。ですから小さいころから仕事としてやっていたことと、学校でも絵のクラブに入ったりして、友禅染めの勉強になることをしてきました。

まあ、今も勉強中なんですけれども（笑い）。西野 もともと鹿児島

の繁華街（天文館）で



松戸ストリートミュージックフェスタE-JAN(イー-Jan)に出演した「桜島」の西野さん(右)と浜上さん



西野 直人さん

(にしの なおと)

昭和51年生まれ

4年前に浜上貴英さんとバンド「桜島」を結成。

まつどストリートミュージックフェスタ「E-JAN」、松戸まつりで行われた「別冊 E-JAN」に出演。ライブハウス、コンサートイベントでも積極的に活動中。

(栄町在住)

路上ライブをやっていたんです。そこでは、ほかに五、六組のミュージシャンがいたんですが、オリジナル曲をやっている人は僕のほかに今の相方（浜上貴英さん）ぐらいしかいなかったんです。僕はコピー曲をやってもつまらないので、自分で作った曲を歌っていました。そんな時いい曲だと言ってくれた人がいて、それが今の相方です。四年前のことです。そのころ僕、彼女にふられちゃったんです。それで、鹿児島にいた

なくて、また、どこかに行きたいという気持ちもあって幼年期を過ごした、松戸に来たんです。それからしばらくして、相方を松戸に呼びました。お互いの曲が好きで、評価していましたから、僕のほうからバンドを一緒にやろうと言いました。

市長 私のような世代ですと人前で何かするのは恥ずかしいという気持ちがありますが、最初に路上で歌ったときの心境はどういうものだったのですか。

西野 高校二年の時に歌いたいという気持ちが強くなって、それで一曲だけマスターして、路上で二時間くらい繰り返して歌っていました。



市長 川井 敏久

街頭に出て歌うまでは緊張感はありませんでしたが、歌い始めたら自分ではすごく気



友禅さし(下絵の模様には、はけや筆で染料液を色さし)をする篠原さん

歳の時です。

母が、私がバイオリンをやれば姉のピアノと合奏ができていいと言ったので始めました。

私が今でもバイオリンを続けられているのは、最初にバイオリンを習った先生との出会いがよかったからだと思います。東京芸術大学を出られた先生で、いろいろな面で助けていただきました。

高校進学では、東京芸大附属の音楽学校に行くか、地元の高校に行くか悩んでいました。競技用の義足は、日本製ではなく海外から取り寄せなければいけないので、大変です。

市長 篠原さんの作品は、創作なので生みの苦しみはあるでしょう。篠原 デザインを考えたりするときにはかなり悩んだりしますが、出来上がるまでが楽しいのです。自分の作品が出来上がったときが一番うれしいです。

市長 われながらいい出来栄えだなんて？

行くか悩みました。自分の実力も、中学のときは、バイオリンで生活できるようになるか、まったく自信がなかったし。そんな時、ある大学のオーケストラ部の演奏会を聴きに行きました。演奏している皆さんが本当に楽しそうにやっていたんです。

好きな道だから

司会 皆さんが今まで苦心されたことやこれからの壁だと感じていることがあればお聞かせください。

古城 義足の問題があります。調整とかそう簡単にはできないので、新しい義足を作るにしてもお金が掛かります。あと練習する環境の問題として、近くに教えてくれる人がいない。

本日は練習相手が必要ですが、いないので僕一人でやっています。また、練習グラウンドまで行くのに、車で一時間かかります。

市長 競技用の義足というのは高価なものです。それに一つ作ればずっと使えるというものでもないですね。

古城 何年か使っているとだめになってしまいます。競技用の義足は、日本製ではなく海外から取り寄せなければいけないので、大変です。

市長 篠原さんの作品は、創作なので生みの苦しみはあるでしょう。篠原 デザインを考えたりするときにはかなり悩んだりしますが、出来上がるまでが楽しいのです。自分の作品が出来上がったときが一番うれしいです。

市長 われながらいい出来栄えだなんて？

篠原 うーん（笑い）。



第69回日本音楽コンクールで演奏する日下さん (毎日新聞社提供)

市長 出かけたるときでもいつもデザインを気に掛けているんですか。

篠原 買い物に行ったりして「あ、これかわいい」「描きたいな」とか思って取り入れることはあります。

市長 私などが思う友禅のイメージとはやっぱり違ってきているんですね。

西野さんは二人のバンドですが浜上さんとやっていく上で悩みとかはないですか。

西野 小さな衝突などはありますが、昔にはありません。

それより曲ができないときの方が苦しいです。例えば詞が出てこないときは部屋にこもってとことんやってみます。

最初、ギターを弾いていたときは楽しくてたまらなかったのに、次第に時間がたつと今までできていたことができなくなったりしました。そうするとものすごく焦る。

やらなければいけない、やらなければいけないとなります。だから頭の中を空っぽにするんです。

自転車をこいで江戸川を散歩したり。そうすると「おれ、そもそも好きでギターをやったんだよなあ」と思い返すんです。

市長 日下さんは兵庫県出身で、高校入学に際して松戸にいらしたんですか。

日下 高校のときは親元を離れて家事をしながら、学校に行くと



日下 紗矢子さん

(くさか さやこ)

昭和54年生まれ
2000年10月に行われたイタリア・バガニーニ国際バイオリンコンクールで2位。同年10月行われた第69回日本音楽コンクールバイオリン部門で1位に輝いた。国内・海外の演奏会・音楽祭に多数出演。
(中根在住)

日下 賞を取ることは大きなことなのですが、最終的にはコンクールに入賞することが目標ではありません。もちろんうれしいのですが、結果だけではないのでそこに至るまでの過程というのが自分にとってすごくいい勉強になっています。

西野さんのように作る側の苦労というのは分からないのですが、すでにある曲をどういうふう

に解釈して、どういうふう

に自分自身を表現する側として自分自身がすごく大人でなくてはならないし、時代背景もすごく大事です。時代時代により曲の解釈は違うのでそういうものも踏まえて、さらに自分らしさを出していくというのは大変です。

マイペースでやっていきたいと思っています。

そういうことも自分が家事を経験することによって分かります。

市長 いろいろなコンクールで賞を取られて、バイオリンの世界ではかなり有名な方ですが、話を聞いていると普通の若者ですね。

それぞれの夢

司会 これからの自分の夢や抱負をお聞かせください。

古城 今まで外国の選手との交流はありませんでした。

ですから、今回シドニーで外国の選手たちといろいろな交流したいとは思ってんですけれども、言葉がしゃべれなかったりで、語学を勉強して、もう少し外国の選手から情報とかいろいろ得たいです。

当面の目標としては、やっぱり四年後のアテネ大会を目指して頑張っていきたいと思っています。

将来的には指導者になり、ずっと



21世紀の舞台上で、今後の活躍が期待されます

ヤーデビューです。

夢といわれると、旅をしたいです。日本以外のところを。

日本では見られない価値観やいろいろなことを見聞きして知りたいですね。

市長 二十一世紀版「寅さん」ですか。ギターを持った寅さん(笑)。

外国でストリートミュージックをやってみて反応がどうなのかというのは興味深いですね。

日下 私は、ソリストを目指しています。

先ほどパソコンのお話が出ましたけれども、時代が動いてコンピュータとかインターネットで簡単に情報が伝えられる時代になってしまっ

て、生の演奏を聴いてくださるお客さんも減ってきています。

でも、演奏会場で生の演奏を聴きに来てくださるお客さんと共有できる時間をもっと持ちたいです。聴いてくださる方が夢を持ってファンタジーを感じられるような演奏家になりたいですね。

また今の社会では、インターネットで外国の選手と情報交換することもできますから、語学はもちろんです。スポーツと並行してパソコンも使えるといいでしょうね。

篠原さんは、友禅染めを本格的に始めてから三年余りということですが。

篠原 基本というか伝統の技法をもっと学んで、昔の着物も好きなのでそういうものも勉強していきたいなと思っています。いずれは自分の個性を開きたいです。

市長 親子で個性を開くというのもいいですね。楽しみにしています。

西野 僕の場合、目標と夢とは別にあります。目標はやっぱりメジ



松戸市の印象は

司会 最後にありますが、松戸というまちの印象、またこんなまちになってほしいという願いがあれば

ば伺いたいと思います。

西野 常磐線沿線のストリートミュージシャンの間では、柏と松戸というのは二大ポイントでよく話題になります。柏はストリートミュージシャンのイベントもたくさんあるんですよ。

松戸にももっとイベントがあるといいなと思います。また、松戸は飲食店が多いですが、もっと若者が集まるようなお店とかあったらいいのになと思います。

篠原 高校進学の際、美術科を探すが大変でした。

きっかけがない人でもやりたいと思ってる人はけっこういると思うので、美術科があったらいいなと思います。

古城 僕は大会前に足をけがしてずっと車いすでした。それで初めて気付いたのですが、行くところ階段があつてもスロープがない。

外国では車いすの人が自由に移動できるように、電車のホームにもエレベーターがついているし、シドニーの選手村ではちょっとした段差が見つかる、次の日に行ったらもう工事してあったりとかしました。

車いすの人も生活しやすいようなまちになつたらいいと思います。

日下 初めて21世紀の森と広場公園に行った時に、もう感動して、私は外国にもよく行きますが、本当に外国のような景色で、「こんな所があるんだな」と驚きました。

これは松戸のいいところだと思います。

市長 こうして何とてみると、なるほどなということばかりですね。「今の若い者は」などという言葉は皆さんには当てはまりませんね。

私は、緑花清流のまちづくりによる「ふるさと松戸」の創生ということを政策に掲げています。

二十一世紀を迎えて、より一層、松戸が「いきいきとした市民の舞台」となるよう私も頑張っていくつもりです。

今日は、夢を実現させようと思つて頑張っている若い皆さんとお話することができました。

近い将来、それぞれの分野で大きな影響力を持つような皆さんの活躍を大いに期待できそうです。未来への明るい希望を感じることができました。

二十一世紀の社会を変えていくのは、皆さんの情熱です。

司会 本日はお忙しい中、どうもありがとうございました。

古城 暁博さん

(こじょう あきひろ)

昭和58年生まれ
幼児期に交通事故で右足を切断。2000年10月に行われたシドニーパラリンピックに出場し、陸上100メートル決勝に進出、8位の成績を収めた。現在、100メートルと200メートルで日本記録を持つ。
(上矢切在住)



シドニーパラリンピック決勝で、力走する古城さん (朝日新聞社提供)

緑花清流のふるさと松戸

私たちの手で実現させたい

市では「緑花清流によるふるさと松戸の創生」を掲げ、各種の施策を推進していま

一方、市民の皆さんの中にも身近な生活環境を快適にしようと自主的に行動を起こす人が増えてきました。

今回は、緑花清流を守り、復活させようとしている人たちのうち何人かの方にお話を伺いました。

松戸の貴重な緑の空間・21世紀の森と広場



「34年前引っ越してきた時は、うちの庭にもホタルが飛んで来たんですよ。国分川がそれだけきれいだった」



国分川の浄化活動に取り組む「河南環境美化の会」会長・高橋清さん・恭子さん（河原塚在住）

三十四年前に引っ越してきた、いわば新住民。当時

ホテイアオイを用いることが多いのですが、せっかくなら目で見えて楽しめるものをという

ら、川の汚れを何とかしようと活動していま

市で、平成9年からマリーゴールドを植え付けています。マリー

ゴルフト利根川の河川敷に行

「川い会」の発起人で、現在も中心的なメンバー・阿部辰数さん（中金杉在住）



エコクリート護岸で植物が生え、鳥も遊ぶ川に

には、リンやチッ素を減らす働きがあります。

この活動に携わって感じるのは、ちよつとのつもりで汚すと取り戻すのに

体的には三角ますを使用したり、排水口にネットをかけるなど残りを下水に流さない、無リンの洗剤を使うなどです。

子どもたちの心に感動を与える風景のあるまちになってほしい

まず、川に興味や親しみをもってもらおうと、参加して楽しいと思ってもらえるようなイベントを企画。それが二月の「川の歌コンサート」と夏休みの「リバーウォッチング」です。

魚がいる。花が咲く。トンボがくる。川でじゃぶじゃぶ遊べる。住んでいる人に、子どもたちの心に感動を与えるような風景になってほしい。そんなまちになるように、楽しみながら活動を進めていきたいと思っています。



水質浄化のためマリーゴールドを植栽



「リバーウォッチング」(ふれあい松戸川で)



毎年好評な「川の歌コンサート」



川に関心を持ってもらおうと、ユニークな活動を展開する「川い会」代表・武本初子さん(西馬橋在住)



「川い会」の発起人で、現在も中心的なメンバー・阿部辰数さん(中金杉在住)

百寿会で子ども広場の花壇作りをしている鈴木操さん・芳子さん（西馬橋在住）



花の成長を見守りながら、知り合いとおしゃべりすることが心の張りになります

西馬橋寿三丁目町会（会長・八十岡忠次郎さん）の中で、七十歳以上のお年寄り同士の扶助組織として「百寿会」というのを作っていたんですが、市の方から「見沼



見事に咲いた百寿会の花壇・百寿園

子ども広場」の雑草取りをやってもえないうかという依頼がありました。でも面積は広いし、作業も高齢者には負担。そこでどうせなら、空いているところに花壇を作って、花を育てて楽しもうということから始めたんです。四年前からチューリップ、スイセン、ストック、ヒマワリ、マリーゴールド、コスモスなど、たくさん種類の花々を四季折々に楽しんでいます。

花の育成は4月に花壇の土づくり、5月に種まき、6・7月には雑草取り、8月は花の苗の補強、9月に枯れた花摘み、10月にはスイセンやチューリップの球根の植え付け、11月は雑草取り・種まきと一年中大忙しです。でも、この花を見に、近くの保育園の子どもたちが散歩に来たり、カメラを持ってやってくる人もいます。家にぼつんといるよりも、外で花の世話をしたり、百寿会の仲間たちと世間話をしたり、次の花は何にしようかなんて話をしていると心の張りになりますよ。

さあ、みんなで作業を始めましょう！
見沼子ども広場（西馬橋）で



この四年間で参加者は延べ二百数十人。現在は百二十人くらいがボランティアとして登録しています。「いつ、こういう作業があります」と連絡網で連絡を回して、出られる人だけが出てきます。ご夫婦で、また、小さいお子さんも一緒に家族で参加している人もいますよ。会費はありません。活動費はイベントのフリーマーケットなどで賄っています。

江戸川沿いがピンクのじゅうたんを敷いたようになるコスモス畑



台風による増水で、二年間コスモスがだめになってしまったことがありますが、それでもまた来年こそはとみんなで頑張っています。花の方が手がかららない冬場でも周りのごみ拾いに集まるのは、やっぱり江戸川がみんなの場所だという思い入れです。江戸川を訪れるみんなが、「花畑もあるし、きれいに使っています」という気持ちになってほしい。私たちは、「花が一面に咲いた時の感動が忘れられない」「知らない人と友だちになれるのが楽しい」「江戸川沿いは空気がよくて健康にいい」など、それぞれのスタンスでフラワーボランティアをやっています。老人ホームのお年寄りが車いすでコスモスを見に散歩にやってくる。たり、市外の人が毎年足を運んでくれたり、人に喜ばれて地域のためにもなると思うと、もうフラワーボランティアをやるのが生きがいのように感じられます。

2001年は国際ボランティア年です



花壇がコミュニケーションの場になればうれしい



新松戸中央公園で花壇作りをする「グループ花のまち」・清家ミチエさん（新松戸在住）＝左・田村幸さん（新松戸在住）＝右

引越してきた人に、「新松戸中央公園は緑はあるけど、花がなくて寂しいわね」と指摘されたのがきっかけで、知り合いが集まり、市に花壇を作るスペースを貸してもらうことにして花を植える活動「グループ花のまち」を始めました。メイン花壇に年四回、パンジー、マリーゴールド、サルビア、コリウス、ペゴニアなど季節の花を植え、あと二つの花壇にも宿根草を中心に、年三回植え替えています。花壇の前で子どもたちがおしゃべりしていたり、お年寄りがお弁当を食べていたり、憩いの場になっていくので、うれしいですね。ゲートボールに来たおばあちゃんがお花の手入れ方法を教えてくださることもあります。土いじりを楽しんでいますが、ボランテアをするという気負いはないですよ。皆



ねえ、あの花なあに？（グループ花のまちの花壇で）

さん、花を楽しみにしてください。月一回、花壇の前で手作りクッキーなどを持ち寄ってティーパーティを開いて、活動の話し合いや情報交換をしています。でも、植えた花を根こそぎ持っていくってしまう人がいるので、それはやめてください。

市民と行政の役割がうまくかみ合っている江戸川のフラワーボランティアのようなことが、ほかのいろいろな分野で増えるといいですね

最初は江戸川河川敷の下に敷設されている流水保全水路という浄水施設の上に、花を植えようという話が平成7年

に出ました。その時に、地元の人だけでなく有志を募って、そのボランティアと地元の人と市と関係団体と力を合わせてやってみようという方向性を決め

たんです。

レンゲ祭りなどイベント時に受け付けを作り、趣旨を説明して有志を集めることを何回かやって、実際にコスモスを植えたのが平成8年。この四年間で参加者は延べ二百数十人。現在は百二十人くらいがボランティアとして登録しています。「いつ、こういう作業があります」と連絡網で連絡を回して、出られる人だけが出てきます。ご夫婦で、また、小さいお子さんも一緒に家族で参加している人もいますよ。会費はありません。活動費はイベントのフリーマーケットなどで賄っています。



江戸川松戸フラワーボランティア世話人・榎本孝芳さん（八ヶ崎在住）



来年まく種を、できるだけ自分たちで育てたコスモスから取りたいと、何時間もかけて一つひとつ種をとっています。ほらこんなに！
名和あきさん（松戸在住）＝左・大嶋博さん（古ヶ崎在住）＝右

役所に何でもやってくれというのではなく、自分たちでできる範囲のことをやっています。種代は市にお願いしています。コスモスは5月に種をまき、夏は草取り作業、9月にイベントの手伝い、ごみ拾い。レンゲの種まきも9月にしますが、草だらけのところに種をまけないのでまた草取りが入ります。花が終わった後の刈り取りは市の機械でやります。



夏は月一回、雑草取り。朝4時から耕運機をかけ、コスモス畑の中は機械でできないため、フラワーボランティアによる人海戦術。雑草取りは1週間ほど続きます

21世紀の森と広場

今春、全域オープン

木もれ陽の森の整備が進んでいます

■野外生活体験ができます

21世紀の森と広場は、着工から今年で十五年を迎えます。最後まで残っていた「木もれ陽の森」の整備完了により、一部の施設を除いてすべてのゾーンがオープンします。

■自然尊重型の都市公園

「木もれ陽の森」は、自然の中の野外活動を通じて、「自然を知り、自然に学び、自然を生かす知恵ある暮らし」を考えることを目的としており、デイキャンプ場



今年も多くの皆さんの来場をお待ちしています

や野外バーベキュー場などの野外レクリエーション施設を組み合わせた「野外生活体験」の場として整備を行いました。

また、ペットを連れての入園を断りし、ごみ箱を設置せず、来園された人にごみを持ち帰っていただく「ごみの持ち帰り運動」の実施、自転車の乗り入れ制限等、通常の都市公園ではあまり例を見ない運営方法を取り入れました。



木もれ陽の森の中のアウトドアセンター受付棟

開園当初は、多少のトラブルがあったものの、市民の皆さんに運営方針について、ご理解とご協力を得られ、安全で衛生的かつ快適な緑地空間が確保され、多数の利用された方々に好評をいただいています。

■次世代に残したい緑地空間
新世紀を迎え、21世紀の森と広場がこれからも、市民の皆さんのレクリエーション、交流、憩いの場として、次世代に承継できる緑地空間となることを願っています。
■21世紀の森と広場管理事務所
346・0121



デイサービスセンターを建設中の古ヶ崎小学校



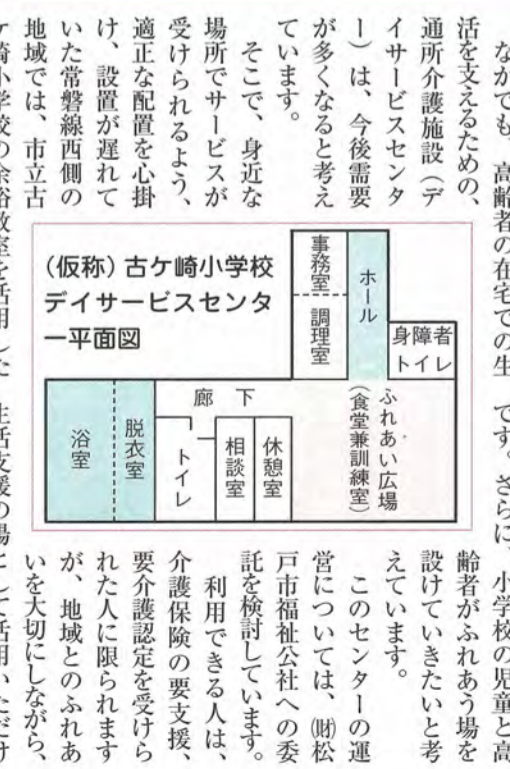
古ヶ崎小学校の余裕教室を活用した「デイサービスセンター」が4月にオープンします。昨年、介護保険制度がスタートし、市では高齢者の在宅での生活を支えるため、松戸市高齢者保健福祉計画に沿って、地域に根ざした総合的なサービスの提供を進めています。なかでも、高齢者の在宅での生活を支えるための、通所介護施設（デイサービスセンター）は、今後需要が多くなると考えられています。そこで、身近な場所でのサービスが受けられるよう、適正な配置を心掛け、設置が遅れていた常磐線西側の地域では、市立古ヶ崎小学校の余裕教室を活用した「デイサービスセンター」を建設し、この4月からオープンする予定です。

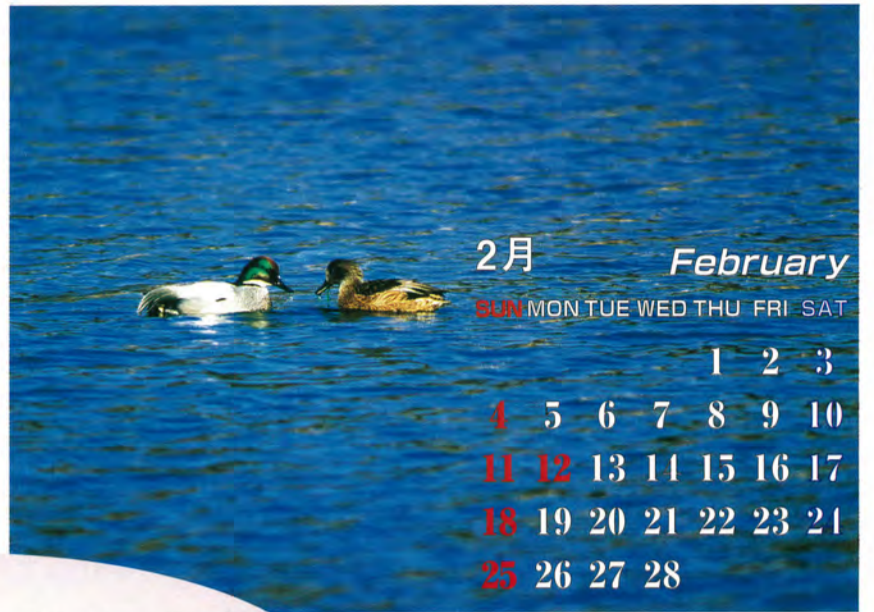
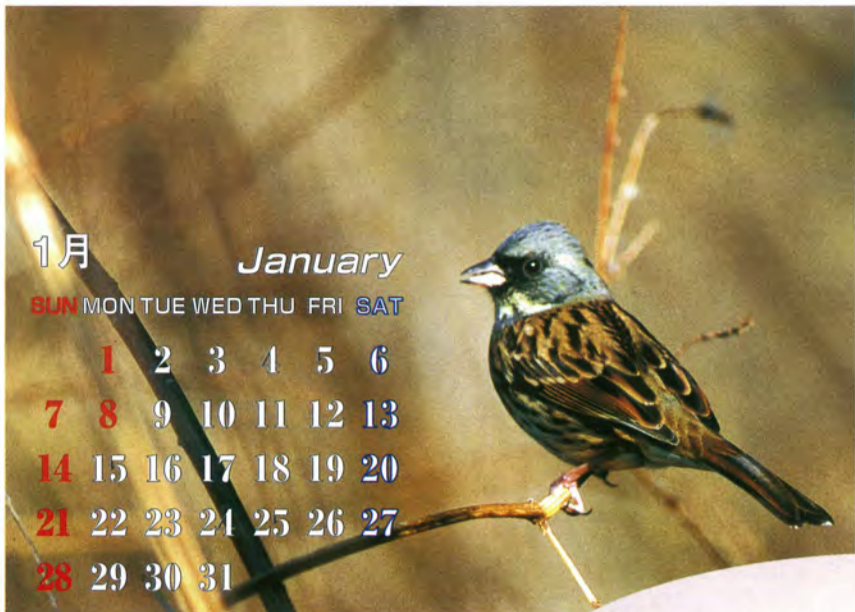
（仮称）古ヶ崎小学校「デイサービスセンター」では、介護に必要な人でもできる在宅での生活を送ることができるように、昼間、音楽を聴いたり、ゲームをしたりとレクリエーションを楽しむとともに、簡単な機能維持のための運動などを行います。

また、入浴や食事のサービスを受けることができます。食事については、小学校内ですので、学校の給食機能を活用しながら、バランスのとれた献立を考えていく予定です。さらに、小学校の児童と高齢者がふれあう場を設けていきたいと考えています。

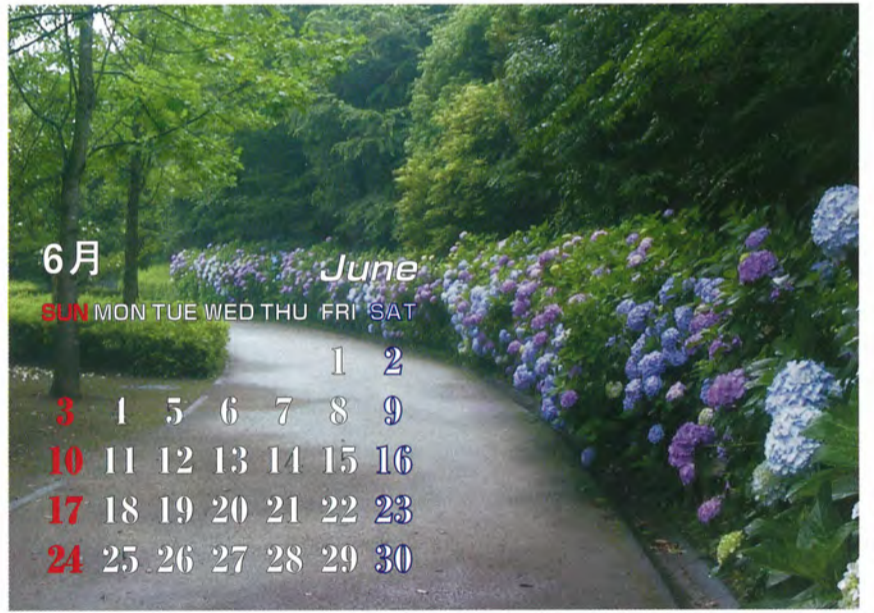
このセンターの運営については、(財)松戸市福祉公社への委託を検討しています。利用できる人は、介護保険の要支援、要介護認定を受けられた人に限られませんが、地域とのふれあいを大切にしながら、生活支援の場として活用いただければと思います。

所在：古ヶ崎小学校内（古ヶ崎四の三六二〇の一）
サービス内容：送迎・生活指導・日常動作訓練・入浴・給食サービスなど
施設内容：食堂兼日常動作訓練室・浴室・相談室など
■高齢者福祉課 ☎366・7346





2001年カレンダー(1月~6月)
21世紀の森と広場



我孫子市
★我孫子を愛した画家
「岡田正二」寄贈絵画展
2月24日(土)~27日(火)午前10時~
午後5時 会場我孫子市民プラザ
費用無料
◎我孫子市教育委員会文化課 ☎0471-851151



◎鳥の博物館 ☎0471-852212

★「日本の鳥」収蔵標本を一堂に公開
鳥の博物館では、現在、約三百種類の日本産の鳥の標本が集まりました。日本の鳥の特徴を理解し、楽しんでもらえよう、二階展示室に「日本の鳥」コーナーを設置しています。
4月8日(日)まで、午前9時30分~午後4時30分(休館日)月曜日・祝日の翌日、12月28日~1月4日(日) 会場鳥の博物館 費用一般三百円、高大生二百円、小中学生百円

元祖 松戸七福神鍋 から一年の元気を

おせち料理に飽きたら「元祖松戸七福神鍋」をご家族でいかがでしょうか。
厳しい経済状況下にあった世紀末。新世紀を迎え市民の皆さんに元気を取り戻していただくために「地場の野菜を使った大衆的な価格のヘルシー鍋」をモットーに、市内飲食店がそれぞれのアイデアを凝らした「元祖松戸七福神鍋」「七福神うどん・そば」を商品化し、提供しています。鍋やうどんを食べられる飲食店は、オレンジとグリーン「のぼり旗」を掲げています。
◎商工観光課 ☎366-7327

東葛六市長新春に語る
~知事を招いて~

昨年の「東葛六市長新春に語る」から
松戸・柏・鎌ヶ谷・我孫子・流山・野田の各市長が市政を語ります。
1月2日(火)午前9時30分~10時55分
千葉テレビ (UHF46チャンネル)



1月の催し物



7日(日)

松戸市消防出初式

時間…午前10時から式典、午前11時から演技
会場…消防訓練センター（八ヶ崎）
☎消防局企画管理室 ☎363-1113



8日(祝)

松戸市成人式

時間…午前10時から受け付け
式典…午前11時から
会場…森のホール21
☎社会教育課 ☎366-7462



7日(日)

松戸市七草マラソン大会

時間…午前8時40分から開会式〔雨天決行〕
会場…運動公園陸上競技場
☎スポーツ課 ☎363-9241



14日(日)

松戸市体育協会50周年記念・第19回松戸市長杯争奪カヌー競技大会

時間…午前9時40分から開会式、午前11時スタート
会場…江戸川河川敷（古ヶ崎中学校前）
☎スポーツ課 ☎363-9241



間違い探しクイズ

お正月の風景です。左右の絵を見比べると、間違っている個所があります。間違いは何カ所あるでしょうか。

A・B・Cのいずれかで、お答えください。

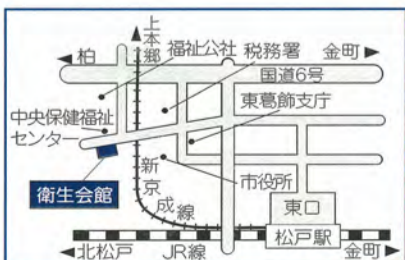
A=3カ所 B=5カ所 C=7カ所



◆テレホン案内サービス ☎366-0010
〔当日の医療機関（待機病院、休日在宅当直医、夜間急病診療所、休日土曜日夜間歯科診療所等）を案内しています〕
平日 午後4時30分～翌日午前9時
休日と土曜 午前9時～翌日午前9時

◆夜間急病診療所 ☎368-3756
衛生会館内 毎日午後8時～11時

◆休日土曜日夜間歯科診療所 ☎365-3430
衛生会館内 午後8時～11時



医療機関マップは市のホームページ（URLは1面の右上参照）にも掲載しています。

急病救急医療システム

健康保険証をお忘れなく

C賞 戸定グッズ
戸定歴史館オリジナルハンカチと戸定郵便ポストカード（二十人）

お買い求めの場合は、森のホール21チケットセンター ☎364-3333（1月3日(水)まで休み）へお問い合わせください。



B賞 歌舞伎はともだち
2月10日(土)午後5時開演 会場森のホール21小ホール 内容第一部歌舞伎に親しむ「歌舞伎の音」、第二部歌舞伎舞踊「釣女」、第三部歌舞伎上演「南都二月堂 良弁杉の由来」(五組十人)

A賞 国際音楽祭
2月27日(火)午後7時開演 会場森のホール21小ホール 内容ピアノの若林顕ほか出演の室内楽、ベートーヴェン/ホルン・ソナタへ長調ほか(五組十人)

プレゼント

D賞 焼酎「戸定邸」
戸定邸オリジナル焼酎(十人)

応募方法

あて先
〒271-8588
松戸市根本387の5
松戸市役所広報課クイズ係
締め切り 1月12日(金)〔消印有効〕
※なお、当選者の発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。クイズの解答は2月5日号の広報まつどでお知らせします。

応募要領

- ① 答え
- ② 希望賞品
- ③ 住所
- ④ 氏名
- ⑤ 年齢
- ⑥ 職業
- ⑦ 広報まつどに関するご意見など

※A・B・C・D賞にもれた人の中から、抽選で三十人に記念品をお送りします。

